

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 主要地方道 東広島向原線 道路改良事業に伴う測量等業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 1	調査位置	広島県東広島市八本松町正力地内	北緯	34° 27' 20.4091"
発注機関	広島県 西部建設事務所 東広島支所	調査期間	令和4年 6月 20日 ~ 令和4年 6月 21日	東経	132° 42' 44.4666"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	T. P. 247.56m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	水 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	東邦地下工機 D0-B
		エンジン	ヤンマー TF90V-E	ポンプ	東邦地下工機 BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取番号	室内位置試験	削孔月日
												深度-N値図		N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量			
0	247.26	0.30	砂質粘土	砂質粘土	暗褐色	rd1	rc1	更新世	有機質な粘土である。	06/20	1.15	1	1	2	1.00	P1-1	○	6/20		
1	245.96	1.60	粘土質砂	粘土質砂	褐色	rd1	rc1	更新世	細粒分の多い細砂・中砂主体の砂を主体とする。深度1.0~1.3mは軟らかな砂質粘土である。全体的に炭質物が混じり、深度0.7mまで植根が見られる。直径1cm未満の根をわずかに含む。	06/21	1.45	1	1	2	1.45	P1-1	○	6/21		
2	245.56	2.00	有機質粘土	有機質粘土	黒	rd3	rc2	更新世	上部は黒ボク状の有機質粘土であり、最下部は淡灰色の細砂質な粘土である。	06/21	2.15	6	7	15	2.15	P1-2	○	6/21		
3	244.46	3.10	隠湿り砂	隠湿り砂	淡灰色	rd3	rc2	更新世	砂分と砂分がほぼ等量の明るい色調の隠湿り砂であり、細粒分は少ない。最大粒径は5cmである。最下部は赤褐色である。	06/21	3.10	2	2	6	3.10	P1-3	○	6/21		
4			強風化花崗岩	強風化花崗岩	赤褐色	rd2	rc2	更新世	風化により完全に土砂化し褐色化した、マサ土状の粗粒花崗岩である。熱水変質により岩石組織は部分的に不明瞭である。	06/21	3.45	3	6	8	3.45	P1-1	○	6/21		
5					淡橙白	rd3	rc2	後期白亜紀	指で押さえると容易に崩れる硬さの柱状コアであり、割れ目は不明瞭である。崩した試料は細砂状である。	06/21	4.15	3	6	8	4.15	P1-1	○	6/21		
6					淡橙白	rd3	rc2	後期白亜紀	指で押さえると容易に崩れる硬さの柱状コアであり、割れ目は不明瞭である。崩した試料は細砂状である。	06/21	4.45	5	8	11	4.45	P1-5	○	6/21		
7	240.56	7.00			淡橙白	rd3	rc2	後期白亜紀	指で押さえると容易に崩れる硬さの柱状コアであり、割れ目は不明瞭である。崩した試料は細砂状である。	06/21	5.45	4	7	12	5.45	P1-6	○	6/21		
					淡橙白	rd3	rc2	後期白亜紀	指で押さえると容易に崩れる硬さの柱状コアであり、割れ目は不明瞭である。崩した試料は細砂状である。	06/21	6.15	4	7	12	6.15	P1-6	○	6/21		
					淡橙白	rd3	rc2	後期白亜紀	指で押さえると容易に崩れる硬さの柱状コアであり、割れ目は不明瞭である。崩した試料は細砂状である。	06/21	7.15	7	13	16	7.15	P1-7	○	6/21		
					淡橙白	rd3	rc2	後期白亜紀	指で押さえると容易に崩れる硬さの柱状コアであり、割れ目は不明瞭である。崩した試料は細砂状である。	06/21	7.45	7	13	16	7.45	P1-7	○	6/21		